

# 平和の光輝ける

(昭和六年寮歌)

広瀬英三君 作歌

金景洙君 作曲

## 一

平和の光輝ける  
春まだ浅き曙に  
綾なす紫雲を分け出でて  
彩色られ行く青春の  
久遠の迷夢を求めつつ  
声高らかに歌はなん

## 二

陽光燦然然れ入る  
夏の窓辺に書よめば  
寮庭に年経るアカシヤの  
床しき薫香漂ひて  
いつか心懐の極みなく  
蝦夷の昔にいたる哉

## 三

秋も闌け行く北溟の州  
白楊の華乱れとぶ  
聖き都に寂寥の  
静かに迫る此の夕べ  
思索の迪を恵ぬれば  
榆林に鐘はなり響く

## 四

馬櫓の鈴の音も絶えし  
雪の大路を歩みつ  
声をかぎりに寮歌うたふ  
凍れるものみな揺かして  
星斗は高く冴ゆる夜の  
大空のかなたへ消えて行く

## 五

高き「理想」と「純情」に  
たぎる生命を託しつつ  
憧れ集ふ若人の  
情熱のかがり火打ち囲み  
月下に酌むや楡の宴  
いざや謳歌へん記念祭